

平成27年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社トスネット

コード番号 4754 URL <http://www.tosnet.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 氏家 仁

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長

(氏名) 朽木 雄二

TEL 022-299-5761

四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年9月期第1四半期の連結業績(平成26年10月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年9月期第1四半期	2,545	3.6	244	43.4	270	40.1	163	63.4
26年9月期第1四半期	2,457	1.9	170	2.9	193	1.4	100	10.5

(注) 包括利益 27年9月期第1四半期 182百万円 (58.4%) 26年9月期第1四半期 115百万円 (△22.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年9月期第1四半期	38.70	—
26年9月期第1四半期	23.68	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年9月期第1四半期	6,218	2,928	47.1
26年9月期	6,228	2,818	45.2

(参考) 自己資本 27年9月期第1四半期 2,928百万円 26年9月期 2,818百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年9月期	—	0.00	—	17.00	17.00
27年9月期	—	—	—	—	—
27年9月期(予想)	—	0.00	—	17.00	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年9月期の連結業績予想(平成26年10月1日～平成27年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,838	2.3	290	2.3	337	0.1	211	17.7	49.93
通期	9,600	2.2	660	1.5	750	0.9	470	21.0	111.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年9月期1Q	4,232,600 株	26年9月期	4,232,600 株
② 期末自己株式数	27年9月期1Q	2,443 株	26年9月期	2,443 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年9月期1Q	4,230,157 株	26年9月期1Q	4,230,162 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法の基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府及び日銀による各種経済・金融政策の推進によって円安・株高傾向が続き、輸出企業を中心に緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、消費税8%への増税後、個人消費の低迷や物価上昇懸念等から、消費税10%への増税が先送りされるなど、景気の先行きは不透明な状況となっております。

当警備業界におきましては、警備サービスに対するニーズは底堅いものがあるものの、同業他社との受注競争の激化や警備品質確保のためのコストアップ要因等を抱え、引続き厳しい経営環境が続いております。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は2,545百万円（前年同四半期比3.6%増）、営業利益は244百万円（前年同四半期比43.4%増）、経常利益は270百万円（前年同四半期比40.1%増）、四半期純利益は163百万円（前年同四半期比63.4%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(警備事業)

警備事業は、交通誘導警備、施設警備、列車見張り警備等を行っております。警備事業の売上高は2,137百万円（前年同四半期比0.5%減）、セグメント利益は129百万円（前年同四半期比18.1%減）となりました。警備事業の業務別売上高の状況は以下のとおりです。

① 交通誘導警備

交通誘導警備につきましては、警備業者間の価格競争は依然として厳しい状況にありますが、震災復興需要への対応及びイベント警備、駐車場警備等へ積極的に取り組み、当部門の売上高は1,431百万円（前年同四半期比1.7%減）となりました。

② 施設警備

施設警備につきましては、当社グループの重要商品と位置づけ、首都圏を中心に積極的に拡大を図っており、当部門の売上高は529百万円（前年同四半期比0.8%減）となりました。

③ 列車見張り警備

列車見張り警備につきましては、比較的利益率が高いことから当社グループの注力商品の一つと位置づけ、当部門の売上高は169百万円（前年同四半期比12.8%増）となりました。

(ビルメンテナンス事業)

ビルメンテナンス事業は、ビルメンテナンス、清掃業務等を行っております。ビルメンテナンス事業の売上高は52百万円（前年同四半期比3.1%減）、セグメント損失は△0百万円（前年同四半期比56.7%増）となりました。

(メーリングサービス事業)

メーリングサービス事業は、メール便発送取次業務、販促品・サンプル等の封入・梱包及び発送取次業務等を行っております。メーリングサービス事業の売上高は212百万円（前年同四半期比51.4%増）、セグメント損失は△0百万円（前年同四半期比136.3%減）となりました。

(電源供給事業)

電源供給事業は、各種イベント及びコンサートの仮設電源の提供・テレビ局関係の中継のバックアップ等各種電源需要への電源提供業務を行っております。電源供給事業の売上高は143百万円（前年同四半期比24.7%増）、セグメント利益は17百万円（前年同四半期比1,635.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末と比較して9百万円減少し、6,218百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金が8百万円、のれんが25百万円減少したこと等によるものです。

負債は前連結会計年度末と比較して119百万円減少し、3,290百万円となりました。この主な要因は、未払法人税等が172百万円、未払消費税等が100百万円減少したこと等によるものです。純資産は前連結会計年度末と比較して110百万円増加し、2,928百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金が91百万円増加したこと等によるものです。この結果、自己資本比率は47.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年9月期の連結業績予想につきましては、平成26年11月13日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,955,745	1,946,971
受取手形及び売掛金	257,228	263,025
警備未収入金	976,142	1,040,001
仕掛品	2,452	4,014
原材料及び貯蔵品	30,435	26,376
繰延税金資産	38,486	19,673
その他	139,053	62,326
貸倒引当金	△3,400	△3,212
流動資産合計	3,396,143	3,359,175
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	300,596	297,187
土地	972,353	972,353
その他	195,535	197,193
有形固定資産合計	1,468,484	1,466,735
無形固定資産		
のれん	628,903	603,245
その他	33,474	32,367
無形固定資産合計	662,377	635,613
投資その他の資産		
投資有価証券	540,516	603,589
投資建物(純額)	7,835	7,545
投資土地	72,085	72,085
会員権	3,037	3,037
繰延税金資産	18,604	11,440
その他	72,847	73,290
貸倒引当金	△14,181	△14,181
投資その他の資産合計	700,745	756,807
固定資産合計	2,831,607	2,859,155
繰延資産		
創立費	486	456
繰延資産合計	486	456
資産合計	6,228,237	6,218,787
負債の部		
流動負債		
短期借入金	910,000	910,000
1年内返済予定の長期借入金	424,366	423,486
未払法人税等	247,800	75,300
未払消費税等	258,859	158,302
未払費用	579,009	612,337
賞与引当金	54,110	32,990
その他	162,257	334,773
流動負債合計	2,636,403	2,547,191
固定負債		
長期借入金	539,939	526,698
退職給付に係る負債	199,662	182,519

繰延税金負債	1,099	3,335
その他	32,898	30,277
固定負債合計	773,600	742,831
負債合計	3,410,003	3,290,022
純資産の部		
株主資本		
資本金	524,680	524,680
資本剰余金	508,300	508,300
利益剰余金	1,670,887	1,762,723
自己株式	△711	△711
株主資本合計	2,703,156	2,794,992
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	127,351	135,194
退職給付に係る調整累計額	△12,273	△1,421
その他の包括利益累計額合計	115,077	133,772
純資産合計	2,818,233	2,928,765
負債純資産合計	6,228,237	6,218,787

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成25年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成26年12月31日)
売上高	2,457,109	2,545,807
売上原価	1,734,587	1,743,216
売上総利益	722,522	802,590
販売費及び一般管理費	551,740	557,717
営業利益	170,781	244,873
営業外収益		
助成金収入	4,766	6,158
受取賃貸料	5,114	5,913
受取出向料	5,516	5,784
持分法による投資利益	6,589	7,354
経営指導料	-	450
その他	7,180	10,385
営業外収益合計	29,166	36,046
営業外費用		
支払利息	5,910	4,725
その他	663	5,223
営業外費用合計	6,573	9,948
経常利益	193,374	270,971
特別損失		
固定資産除却損	25	-
固定資産売却損	36	-
特別損失合計	62	-
税金等調整前四半期純利益	193,312	270,971
法人税、住民税及び事業税	79,285	89,168
法人税等調整額	13,850	18,109
法人税等合計	93,135	107,277
少数株主損益調整前四半期純利益	100,176	163,693
四半期純利益	100,176	163,693

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成25年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	100,176	163,693
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14,992	7,843
退職給付に係る調整額	-	10,851
その他の包括利益合計	14,992	18,695
四半期包括利益	115,169	182,388
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	115,169	182,388

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年12月20日 定時株主総会	普通株式	63,454	15.0	平成25年9月30日	平成25年12月24日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成26年10月1日 至 平成26年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年12月19日 定時株主総会	普通株式	71,912	17.0	平成26年9月30日	平成26年12月22日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合 計
	警備事業	ビルメンテナンス事業	メーリングサービス事業	電源供給事業	
売上高					
外部顧客への売上高	2,147,230	54,514	140,272	115,092	2,457,109
セグメント間の内部売上高又は振替高	12,084	3,242	—	—	15,327
計	2,159,315	57,757	140,272	115,092	2,472,437
セグメント利益又は損失(△)	158,416	△1,144	2,146	982	160,401

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	160,401
セグメント間取引消去	10,380
四半期連結損益計算書の営業利益	170,781

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成26年10月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	警備事業	ビルメンテナンス事業	ケーシングサービス事業	電源供給事業	
売上高					
外部顧客への売上高	2,137,102	52,812	212,333	143,559	2,545,807
セグメント間の内部売上高又は振替高	18,074	1,636	—	591	20,302
計	2,155,176	54,448	212,333	144,150	2,566,110
セグメント利益又は損失(△)	129,797	△495	△779	17,038	145,561

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	145,561
セグメント間取引消去	99,312
四半期連結損益計算書の営業利益	244,873

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。